

第 11 回工学資源学部 FD シンポジウム —GPA 導入を効果的なものにするために—

主催 FD 委員会・教養基礎教育委員会・教育学生委員会

GPA (Grade Point Average) は、米国では学生の成績評価の総合的な指標として広く用いられ、わが国でも近年急速にその導入が進んでおります。この制度は、学生個人の成績指標として分かりやすい、学生の勉学意欲の動機付けになる、進級・退学・奨学生採用の際の基準として使いやすいなどのメリットがある反面、大学受験の偏差値と同様個人の学習レベルの安易な指標になる、容易に A が得られる授業に集中するなど科目選択が皮相的になる、点数による学生の安易な切捨てにつながる、などのディメリットが指摘されております。そのため、その導入には、“単位の実質化” など、教育の本質を学生・教員が熟知するとともに、ドロップアウトする学生への支援体制を整備することが重要とされてきました。本学でも近年教育改善が進み導入による効果が期待できる状況になっており、教養基礎教育における本年度からの導入に続き専門教育における導入が検討されております。本 FD シンポジウムでは、このような背景を踏まえ、「GPA 導入を効果的なものにする」ことを目的として、GPA に関する議論を深めたいと思います。

日時：平成 21 年 8 月 3 日 (月) 14:30-17:00

会場：VBL 棟大セミナー室

【基調講演 1】

演題：「GPA 制・CAP 制のもとでの教育改善と問題点について」

講師：新潟大学工学部長・建設学科教授

大川 秀雄 氏

【基調講演 2】

演題：「本学部専門課程への GPA 制導入について
—アンケート結果をもとに—」

講師：GPA 制度に関する意識調査 WG 代表

菊地 賢一 氏

【パネル討論】

「GPA 制導入を効果的なものにするために」

パネリスト：基調講演 1, 2 の講師